

計画の位置づけ等

- 計画の位置づけ : がん対策基本法第12条第1項に基づく都道府県計画
- 計画期間 : 2024(R6)年度から2029(R11)年度までの6年間
- 他計画との整合性 : 「ひょうごビジョン2050」のめざす姿を実現する計画として保健医療計画や健康づくり推進実施計画等の関連する諸計画と整合

現状と課題

1 年齢調整罹患率

全国より高い水準で推移しており、目標には達していない

	目標	H28	H29	H30	R1	R2
兵庫県 (全国順位)	10位以内	413.3 33位	393 27位	395.1 33位	397.9 32位	368.6 27位
全国	—	402.0	388.9	385.1	387.4	362.4

出典：国立がん研究センター

2 75歳未満年齢調整死亡率

全国と比較して低い水準で推移しているものの、目標には達していない

	目標	H30	R1	R2	R3	R4
兵庫県	—	69.6	67.8	69.0	66.9	64.7
全国	—	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4
全国値との差の割合	△5%以上	△2.8%	△3.1%	△0.9%	△0.7%	△4.0%

出典：国立がん研究センター

3 生活習慣の状況

運動や栄養に関する指標は目標に達していない

	目標	H28	現状値
日常生活における歩数	男性：9,000歩 女性：8,100歩	男性：7,782歩 女性：6,813歩	男性：7,405歩(R4) 女性：6,561歩(R4)
1日あたり野菜摂取量	350g以上	275.4g	303.5g(R3)

出典：国民健康・栄養調査(歩数)、ひょうご栄養・食生活実態調査(野菜)

4 がん検診受診率

すべてのがん種で全国より低い水準で、目標に達していない

	目標	胃	肺	大腸	乳	子宮
兵庫県	50%	43.0%	44.2%	43.2%	42.8%	38.9%
全国	60%	48.4%	49.7%	45.9%	47.4%	43.6%

出典：国民生活基礎調査(R4)

5 県計画には、国の第4期基本計画(R5.3策定)で追加された次の事項がない

- 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
- ロジックモデル

全体目標

- 1 がんによる罹患者・死亡者減少の実現
 - 年齢調整罹患率全国10位以内
 - 75歳未満年齢調整死亡率は全国平均より5%以上低い状態
- 2 **新** がん患者一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない兵庫の実現

分野別施策及び個別目標

分野	項目	内容	主な目標
1 がん予防	生活習慣改善の推進	・生活習慣予防等の健康づくり	・栄養、食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙等に関する生活習慣の改善 ・発がんに関与するウイルスや細菌への感染の減少
	たばこ対策の充実	・受動喫煙防止条例に基づく対策の推進 ・たばこ身体に与える影響に関する知識の普及啓発	
	感染症に起因するがん対策の推進	・感染症に起因するがんやHPVワクチン等に関する正しい知識の啓発 ・肝炎ウイルス検査の受診啓発	
2 早期発見	がん検診機会の確保と受診促進支援	・重点市町の指定等による市町の取組促進 ・企業との連携によるがん検診受診の啓発 新 SNS等を活用したがん検診受診促進のための普及啓発	拡 がん検診受診率60%
	適切ながん検診の実施	・生活習慣病検診等管理指導懇話会の活用等による事業評価・精度管理の実施 ・がん検診従事者の専門性の向上 ・新たながん検診等への対応	・がん検診における精度管理の向上 ・精密検査受診率90%
3 医療体制	個別がん対策の推進	・小児・AYA世代や高齢者等のライフステージに応じたがん対策 ・肝がん対策 ・石綿(アスベスト)関連がん対策	・ライフステージごとに抱える問題等に対する適切な支援 ・肝がん年齢調整罹患率全国値以下 ・肝がん75歳未満年齢調整死亡率全国値以下
	医療提供体制等	・拠点病院におけるチーム医療体制の整備 ・医療連携体制の構築(均てん化・集約化等) ・専門的な知識等を有する医療従事者の育成 ・情報の収集提供と治験・臨床研究の推進	・質の高いがん医療を受けられる体制構築 ・ゲノム医療、希少がん、難治性がん等の専門性の高いがん医療へのアクセシビリティの確保
	がん患者の療養生活の質の維持向上	・がんと診断された時からの緩和ケアの推進 ・在宅医療・介護サービス提供体制の充実	・緩和ケア研修修了者数の増加 ・がん患者が適切なケア、治療を受けられる体制の確保
4 して暮らせる社会	がん患者への支援の充実	・がん患者やその家族への相談支援・就労支援 ・ 新 アピアランスケアへの対策 ・ 新 がん患者の自殺対策等	・がん相談支援センターの利用促進 ・がん患者が診断後も社会的課題による苦痛を受けないような体制整備
	がん患者を支える社会の構築	・学校教育等によるがんに関する知識の啓発 ・全国がん登録の推進	・県民が学校教育の段階からがんについて正しく理解する ・がん登録情報の更なる利活用

改定の視点

- がん予防の推進 … 適度な運動やバランスのよい食生活など生活習慣の改善
- 早期発見の推進 … がん検診受診率の更なる向上を図る(目標値:50%→60%)
- 患者とその家族に寄り添った取組の推進 … アピアランスケア等、療養生活の質の向上を図るための施策を推進
- 感染症発生時等を見据えた対策 … 有事に必要な医療を提供できるよう平時からの取組を推進
- ロジックモデルの作成 … がん施策の進捗管理や評価にあたり活用する指標を作成

がん対策を総合的かつ計画的に推進するための事項

- **感染症発生・まん延時や災害等を見据えた対策**
感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても必要ながん医療が提供できるよう平時からの取組を推進
- **ロジックモデルを活用した評価・検証**
がん対策推進計画に基づくがん対策の進捗管理に当たってPDCAサイクルの実効性を確保